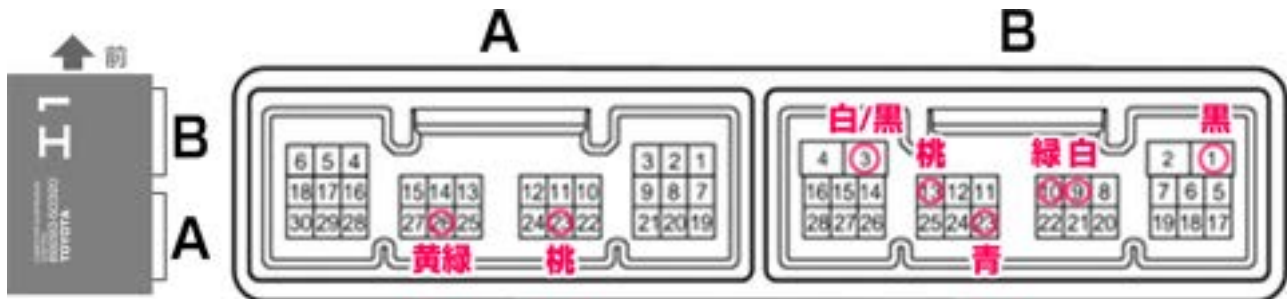


LS500エアサスコントローラーアドバンス2取付説明

2024年6月12日 版

配線

下図はトランク右側、エアサスECUコネクター。電線側からECUを見た向き



システム(6線)とセンサー(8線)の2種類のハーネスをECUに接続します。

以下の手順に従いはんだ付けまたは圧着、絶縁を行った後、振動による接続部断線防止のため束ねて下さい。ギボシなど極細電線に適さない圧着端子の使用不可。

1. トランク左側ヒューズボックス内 [AIR SUS NO.2](20A)のヒューズを外す
2. ECU A-23(桃)をカットし、ECU側に**センサー 黄**、車両側に**センサー 黄緑** を接続
3. ECU A-26(黄緑)をカットし、ECU側に**センサー 茶**、車両側に**センサー 青** を接続
4. ECU B-13(桃)をカットし、ECU側に**センサー 紫**、車両側に**センサー オレンジ** を接続
5. ECU B-23(青)をカットし、ECU側に**センサー 灰**、車両側に**センサー 白** を接続
6. ECU B-3(白/黒)に、**システム 黒** を分岐接続
7. ECU B-1(黒)に、**システム 赤** を分岐接続
8. ECU B-9(白)をカットし、ECU側に**システム 青**、車両側に**システム 白** を接続
9. ECU B-10(緑)をカットし、ECU側に**システム 黄緑**、車両側に**システム オレンジ** を接続

完了後は接続を必ず再確認し、問題なければ2つのハーネスを本体に挿し、先ほど抜いたヒューズ [AIR SUS NO.2] を戻します。

ディスプレイコントローラー接続

7mの黒色ケーブルの一方を本体に、もう一方をディスプレイコントローラーに差し込みます。

モジュール設置

マフラーが近いためエアサスECUまわりのボディ鉄板はエンジン始動中かなり熱くなります。電子機器は高温での稼働が続くと故障率が上がるため、**アドバンスモジュールはできる限り車両の熱を拾わない場所に設置して下さい。**始動中はモジュール本体もある程度発熱します。

動作確認

1. IGN ONで本体内部の青色LEDが点灯していることを確認下さい
2. IGN ONでディスプレイコントローラーに何らかの表示があることを確認下さい
3. エンジンONで車両メーターパネルに警告が出ないことを確認下さい
4. 別紙の操作方法を参考に、ディスプレイコントローラー車高調整ができることを確認下さい

異常時

IGN ONで本体内部の青色LEDが点灯しない

本体に電源が接続されていない、または通信異常です。システムハーネスを点検して下さい。

ディスプレイコントローラーが表示されない

IGN ONで起動します。表示されない場合は、黒色ケーブルが未接続、本体に電源が接続されていない、または通信異常です。

車両メーターパネルに異常表示がされる

本体内部の青色LEDが点灯していることを確認下さい。システム・センサーハーネスの配線も再確認下さい。出荷品に問題がある場合も考えられますので、恐れ入りますが後述のハーネス画像と照らし合わせ願います。

本体内部のLEDが点滅する

システムハーネス 青・緑・オレンジ・白の配線を確認下さい。

車高設定変更後も車高調整が行われない

変更後メーターのハイトランプが点滅していれば、約3秒後に調整をはじめます。Pレンジで、ブレーキを離してください。なお診断機が接続されているときは動作しません。

それでも動作しない(ハイトランプも点滅しない)場合はディスプレイを車高表示モードにし、平坦な場所で車高設定を変更して4輪全ての表示が設定値通りに変化することを確認して下さい。変化がおかしい箇所があれば、センサーハーネスの接続を見直して下さい。

エンジン始動時やシフトをPレンジに入れたとき車高調整が行われる

エアサスの膨張・収縮による車高変化があった場合、ブレーキを離した後に自動調整を開始します。正常です。

ディスプレイの車高表示モードで、値が100から大きく離れている

設定と実車高が等しい基準値が100で、ここからの ± 10 ぐらいは路面状況により正常です。車両が水平状態にもかかわらず大きく離れている場合はセンサーハーネスを点検してください。オレンジ・紫が右前、白・灰が左前、緑・黄が右後、青・茶が左後の車高を調整しています。なおロワリングキットなどで車高センサーを調整している車両は診断機での再学習を行うまで値はそろいません。

製品ハーネス



左 システム(6線) / 右 センサー(8線)